



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

美杉山荘 建設プロジェクト

地縄・地業(栗石、ステコン)

工事は、地面に建物の平面図を紐で描くところから始まります。この作業を“地縄”と呼び、これによって建物の位置が確定します。直角を確認するために“大矩”(おおがね)と呼ばれる手製の三角定規が使われます。これは各辺が3対4対5の直角三角形になっており、昔から良く使われている道具です。



地縄はやり直しのきかない作業ですので、結構真剣です。



大きな切り株が、あちこちで掘削作業の邪魔をしてくれます。この作業を“根切”と呼ぶのも納得します。



“根切”が終われば、掘削した底にこぶし大の石を敷き詰め、“タコ”と呼ばれる手製の道具で転圧します。建物の全荷重を地面に伝える部分ですので、工事は念入りに進められます。

転圧の次に、栗石の上にステコンと呼ばれる、薄いコンクリート(実際はモルタル)を塗ります。ステコンは、正確な基礎位置を直接描く(墨出)ためにも、必要な工程です。



タコによる転圧作業。